

○羽田空港新飛行ルートについて

Q 東京新聞朝刊1面で、羽田空港への飛行新ルートが、大井町付近では東京タワーより低い約300メートルまで下がるとありました。

騒音や落下物、最悪の場合の事故など想定すると、人口密集地の低空での通過は、いかに経済的効果が期待出来るとはいえ、許されるべきではないと考えます。調布の墜落事故も他人事とは思えません。

特に品川区は、羽田空港に近いので、他の区と比べてもより低空となり多大な影響を受けることが想定されます。

また本件は国は説明会を実施していますが、まだまだ世間から注目されていません。区としてさらに区民に対する十分な説明を国に求めて頂きたいと考えます。

これからも永く「安心して住み続けたいまち、しながわ」であってほしい。是非とも区としての具体的なアクションを期待します。

A 国土交通省から提案がございました羽田空港の機能強化に係る飛行経路の見直し案につきましては、年間の約4割にあたる南風時の15時から19時までの間に限定した案として国から出されました。これまで都と23区は連携し、情報共有や意見交換を行い、騒音や安全性について、国の責任として地域住民への丁寧な説明を行うよう申し入れを行ってまいりました。

先般、国は、双方向の対話が可能な「オープンハウス型」の説明会を行いました。区民の皆様から頂いた意見を検証後、第二段階としての環境対策や運用方法等の説明を行う予定をしております。

区民の皆様の不安を取り除くためには、様々な影響やその対策についてしっかりとお知らせし、理解を深めることが重要と考えますので、引き続き国に対してきめ細やかな説明を求めてまいります。

(都市環境部都市計画課・環境課)